

男女共同参画の視点で図書紹介

女性会館図書コーナーでは、女性をとりまく諸問題や男女共同参画社会に対する理解を深めていただくために、市民の皆さまへ図書、CDを提供しています。今回から、パザパ誌面に掲載した記事に関連のある図書などをこのコーナーで紹介します。

『デートDVをなくす若者のためのレッスン7 愛する、愛される』

山口のり子著 梨の木舎

本書では、マンガでの事例紹介のほか、暴力をふるう側・ふるわれる側の両面からデートDVを扱っていますが、その要因のひとつに「ジェンダー・バイアス」(男女の役割について固定的な観念を持つこと)を挙げています。著者は、それにとらわれることなく自分にとっての「かっこいい女らしさ・男らしさ」をみつけ、自分を尊重すること、そして、お互いに相手のその人らしさを尊重することが必要だと言っています。

また、このことから、表題の『愛する、愛される』には、“相手が自分とは違う考え方、生き方、価値観を持っていることを受け入れること”ができる女性、男性になってほしいという著者の願いが込められているように感じられます。

本書の中で、ある養護教諭が次のように記しています。「できるだけたくさんの日々を笑って過ごし“いい一日だったな”と眠ってほしい。恋愛相手のことで振り回されてほしくない。自分の身におこっていることを話せる誰かを見つけておいてほしい。」

もし、近くに話せる誰かがいない時は、女性会館にも相談室があることを覚えておいていただければと思います。



『「パパ権」宣言！お父さんだって子育てしたい』

川端裕人、岸裕司、汐見稔幸著 大月書店

個性あふれる3人の父親が自らの体験をもとに語り合い、「もうひとつの男の生き方」を提案している本です。著者自らが独自のスタイルで子育てを実践してきたなかで、それぞれの視点から、パパが子育てすることの楽しさ、苦勞が描かれています。

本書によると、「パパ権」とは「男性が子育てと家庭生活にたずさわり、その苦勞と喜びを享受する権利」をさす言葉として考案されたものだそうです。そして、社会は子どもがいるいないに関わらず、すべての男性に「パパ権」を与えねばならない、「パパ権」は現代日本の男性の環境権のひとつなのだ、と主張します。父親をしたくてもできない現実が多く父親にあり、そういう人たちにエールを送りたいという思いが、この言葉には込められているのです。

ワーク・ライフ・バランスの大切さが叫ばれても、まだまだ余裕のない人が多いのが現実です。そういう人にこそぜひ読んでいただきたい一冊です。驚くような考え方や実践が多く、そしてなにより楽しさが伝わってきます。



Pas à pas
パザパ

男女共同参画社会へ一歩いっ歩近づぐための情報誌

Pas à pas

パザパ

男女共同参画社会へ一歩いっ歩近づぐための情報誌

No.7
2006.10

やっぱり「見た目」?
それとも「中身」?

カミロマンさん。
生きわたるマン。



パザパ流 ちょっとイケてる 静岡の男たち

http://www.city.shizuoka.jp/
e-mail:sankaku@city.shizuoka.jp パザパ7号のご感想をお寄せください。

発行／静岡市総務局企画部男女共同参画課
企画編集／市民編集スタッフ 狩野直子・久保田さきの・中村洋子・山田友美
〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号 ☎054-221-1349

わんわんしん

静岡パザパ流

の男たち



仕事一筋だった男性の生き方に、いま新しい風が吹き始めています。素の自分は変えられなくても、外見や服装でそれなりに男は変わるもの。本当にそうでしょうか？
マスコミが煽る“ちょいモテ”ブームを横目に、パザパが考える“ちょっとイケてる”男性4人の素顔に迫ってみました。

そしてさらに、「素敵にシニアライフ」講座の潜入ルポを行い、一歩ずつでいい、もっと気持ち楽になり、生活が楽しくなる方法を追いかけてみました。

なが さか きよ あき
長坂 潔 曉 さん (40代)



自分にとって一番楽しい時間は人と話している時。店で販売している時、田んぼに行き生産者とお米作りについて話す時がめちゃくちゃ楽しいですね。仕事以外では子どもと話している時です。写真も好きで(そばにあった愛用の一眼レフを手に取りながら)子どもの写真はよく撮っています。日常の、フツーに遊んでいる一瞬の姿を撮ってます。

好きな家事について
常に段取りを考えて二手、三手先を読んで仕事をしているので、家の中のことも同じです。
あえて家事をしようというより、普段からお客さまがみえたらお茶を入れて出すし、物の定位置を把握して部屋が散らかっていきなり片付けます。風呂を出た後は浴槽をきれいに拭いておいたり、鍋を片付けながら料理もします。片付け魔・きれい好きですね。どちらかというと妻の方が大雑把ですよ(笑い)。

安東米店4代目店主。大学時代は工業デザインを専攻。会社員を経て家業に従事。米作りの企画から炊飯までのプレゼンテーションに取り組む。両親、妻、子ども3人の7人家族。趣味は自転車、写真、音楽鑑賞。葵区安東2丁目。

イケてる父親とは
カッコいい、イケてるなって思う人は、子ども・稲・生命に対する愛情の注ぎ方、愛情の密度がすごく濃いですよ。時代的なギャップはあるけど、その人のセンスというか、世代は関係ないと思います。あとは、その人がしたいことをがまんしないでやっている。言い訳をしてやらない人もいっぱいいるけど、人の目を気にせず、自分を犠牲にしないことでしょうか。仕事でもその人なりの仕事をしている、個性的、存在感のある人に魅力を感じます。

僕の場合、仕事も遊びも全部自分の中で同時進行で、オンとオフの境がない生き方をしている、仕事では企画からディスプレイ、販売までの責任、成功も失敗もリスクは全部背負っています。全部丸ごと、真剣勝負です。ただ自分ができる仕事量はわかっているつもりですから、無理はしません。自分の風呂敷を広げたところは集中してやっています。

これから家庭をもつ人へのアドバイス
自分たちのスタイル、気持ちを大切に2人で決めていけば良いと思います。自分も勉強中の身なので(笑い) 上手くやっていく知恵は...言いたいことは言う、腹は立てないことかな。絶対、自分に合う相手っているもんですよ。相性もあります。2人で自分たちのスタンダードを作っていく。スタンダードの数は無限です。

パートナーに対してメッセージ
3人も子どもを産んでくれてありがとう。
仕事も一緒にやってくれてありがとう。
僕をフリーにしてくれてありがとう。

“素敵にシニアライフ”

講座潜入ルポ

「仕事一筋」でがんばってきた男性に、ゆったりと豊かで充実した第二の人生を提案する講座“素敵にシニアライフ”が静岡市女性会館で開催されました。生活の達人になるための3回にわたる家事実践講座の様子取材しました。



1回目は、「見た目も肝心、デキル男になる！」を目標にしたファッションコーディネートや衣服の管理の講座です。

講師の福島昭夫さんは、リタイア後の多彩な生き方に合わせた、シーンごとのおしゃれの楽しみ方を提案。講師自身の服を実際に組み合わせ、TPOに応じたトータルファッションの極意を学びました。

ローライズのズボンを勧められ、やや戸惑い気味の皆さんでしたが、ワイシャツの干し方、アイロンがけを学び、「衣服に関しては妻任せにせず、自分のものは自分で買いましょう」とアドバイスされ、少し若い感覚でおしゃれを考えるきっかけをつかんだようでした。



ごとう まさし
後藤 正さん(30代)

自分にとって一番楽しい時間は

今の職場は朝6時ごろ出勤することもあり、また、帰宅は10時を過ぎることもあります。家に帰ってくると娘はもう寝てしまっているの、子どもと一緒にいる時間が一番楽しいです。自分と一緒に遊んで、喜んでくれる姿を見るのがとてもうれしいですね。

動物たちといつも一緒に職場を離れたら、気持ちを切り替えるように心がけています。といっても、家でも愛犬(シェパードのマック)の世話をしています。休みの日、早起きをしての散歩が楽しみです。片手に子どもの自転車を引き、もう一方の手に愛犬の綱を引いて。近くの公園までの30分くらいの道中、近所の方との会話も楽しんでいます。

好きな家事、嫌いな家事は

僕は学生時代ひとり暮らしの経験もあるので、今でも家事全般をできるだけやろうと心掛けています。

育児についても、時間の許す限り子どもと接したいと思っています。そういえば、子どもが生まれた時の病院での沐浴指導で、「上手ですね」と褒められたことがありました。職業柄これまで動物に接する機会が多かったからでしょうか。

(パートナーより)

うちでは、ゴミを出したり、休みの日などで時間がある日は洗濯をしてくれたり、お風呂のそうじなどもしてくれます。よく家事に参加してくれているほうだと思います。

静岡市日本平動物園勤務(獣医)。180種類以上の動物のえさの仕分けなどを担当している。市立体育館親子遊びの集い教室に毎回参加。祖母、父母、妻、子ども(3歳、0歳)の7人家族。葵区春日町。



イケてる父親とは

・・・。特にありませんが、自然体でいけばいいと思っています。

これから家庭をもつ人へのアドバイス

パパも、生まれたときから、子育てに積極的に参加して欲しいと思います。一緒に遊ぶ時間が楽しくなるように。普段から子どもに接していないと楽しむことができないと思いますので。それぞれ、仕事は忙しいと思いますが、毎日、一つずつ、少しずつでも、子どもと接して欲しいと思います。

体育館の親子遊びの集い教室にパパが参加することに抵抗は

体育館の遊びの集いの場合、親同士(ママ同士)で、話をする機会などは少なく、遊ぶ時間がたっぷりとれるので、パパとして参加することにあまり抵抗は感じません。

今後、子どもの成長とともに、幼稚園の送り迎えなどにも積極的に関わりたいと思っています。

うち やま やす ひこ
内山 保彦さん(60代)

自分にとって一番楽しい時間は

自分で自由に使える時が、楽しい時間ですね。ライフワークの全国街道めぐりにしても、現在、東海道、中山道、奥州街道など五街道を歩き終えましたが、次に歩く計画について地図を広げて距離を測りながら、未知の街道歩きをあれこれ考えるのが至福の時間です。

在職中は管理職になって部下もいたし、転職もしました。いろいろ苦労もありましたが、何が理由で持ちこたえられたかということ、「会社を辞めたら、こうしよう!」というイメージがあったからだと思います。

私は在職中、若い頃から、与えられた有給休暇はキッチリ取りました。そのうち可能な限り連続休暇にして、パートナーとの旅行など人生の楽しい思い出づくりになるよう心掛けたつもりです。

好きな家事、嫌いな家事は

家事はすべて好きにならなきゃいけないと思いますね。家事に休息はありません。以前は、男として洗濯物を干すことが恥ずかしかったのですが、今は近所の人に「おはよう」と声をかけながら自然体でやっています。

家事は“好き”“嫌い”というものではないですよ。別の見方をすれば、会社勤務より大変。奥が深い。油断するとあっという間に仕事が増えていく。尊敬しちやいますねパートナーを。何気なく、さりりとやってくれているところが。

私は今、家事をするのが楽しい。気分転換になるから。買い物に行ったり、メニューを考えたり。我が家では、自然に家事は分担されるようになりました。例えば、今日の昼ごはんは私が作り、夜は2人で一緒につくる、という感じに。

57歳で会社を早期退職後、市政、県政、NHKなどのモニター経験やイギリスへの短期留学も。現在は静岡中央高校の学生でもある。ライフワークは全国街道めぐり。自宅に仲間を集めてご自身手づくり料理でホームパーティーも。妻と2人暮らし。葵区岳美。



パートナーに一言

最大なる理解者です。困ったときに、何でも相談を持ちかけることができた。彼女が居てくれたことで助かりました。“受け止めてくれる”という信頼関係があったと思います。夫婦と言うより、人生を生きていくための仲間、という気がします。

ライフワークは?

私達には子どもがいない影響からか、2人の共有する趣味を持つと心掛けてきました。全国城めぐりは、結婚した当初からの共通した趣味で、部屋に日本地図をはり、行ったことのある城に印をつけて楽しんでいました。その次の目標として全国街道めぐりもするようになりました。

在職中から歩き始めて今年で7年目。月に1度ぐらいのスケジュールで巡っています。街道の景色が色濃く残るルートでは、パートナーや彼女の友達なども誘って一緒に歩いたりしています。

これからも全国街道めぐりをライフワークとして、残された人生を楽しみたいものです。

「スーパーの達人になる!」が第2回の目標。

ジャスコ清水店に集合した皆さんは、前回の講座を受け、ズボンやシャツにおしゃれが感じられました。

3グループに分かれ、農産品や水産品、加工食品、惣菜の売り場で、担当者から話を聞きました。品揃えや仕入れルート、品質管理などについて積極的に質問をする一方で、担当者からは、店独自の工夫、表示の見方、食品の保存方法などを学びました。「スーパーのことがいろいろわかった。今後の商品選びの参考になります」と言っていた皆さんの気持ちは、次回の料理講座に。

解散後、“マイ包丁”を求めて売り場に向かう人もいました。



第3回の目標は「家事としての男の料理を楽しむ!」です。エプロン姿の受講生は、同年代の講師、フリーライターで料理研究家の吉田清彦さんの「趣味ではなく家事としての料理を。段取り良く、経済性、栄養、安全を考えて」の言葉に真剣に聞き入っていました。

自分の包丁、まな板を持参し、調理器具や技術の説明を受け、講師特製の手順表つきレンビを見ながら調理に取り掛かりました。途中、計量カップの大きさを間違えるハプニングもありましたが午後1時すぎには全グループ完成。満足する出来ばえに笑顔がこぼれていました。



よし だ かず のり
吉田和訓さん(50代)



自分にとって一番楽しい時間は

仕事は、あまり楽しいとは感じないね。網についても、漁の仕方についても「もっともっと」という気持ちが強くて。サッカーを見ている時が一番楽しいですよ。ワールドカップドイツ大会は全試合録画しました。

船元の生活とは

古い部分もあるけど、私の子どもの頃とは随分変わったかな。機械化が進み乗組員も1艘あたり9人から6人になり、漁期も春と秋の年2回と短くなっています。

漁が終わり船元の家で酒を飲むなんてことも今はないですね。漁がない時期には、網の手入れや、漁の準備と結構忙しいです。

海外でも活動されたそうですね

大学が鹿児島だったので、地理的に開発途上国を身近に感じていたかも知れない。また、身内に海外を飛び回っている人がいたりして。卒業後、会社に勤めたけど、やっぱり海外へ行きたいと思ってJICA(国際協力機構)の青年海外協力隊に。

桜えび漁船元5代目。大学卒業、就職の後、昭和55年青年海外協力隊初代セネガル隊(総勢3名)の一員として2年間派遣。30歳から家業に従事。吉田明神丸船長。妻の朱美さんは蒲原女性の会会長。子どもは3人。清水区蒲原3丁目。

結婚後、朱美さんがマレーシアに派遣されたそうですね

家業を継いで7~8年、妻が2年間マレーシアに行くことに。小学校4年生を筆頭に3人の子どもの面倒と、漁業を両立するのは難しいので、妻が子どもを連れて行くことになりました。

JICAでも子連れ派遣は初めてで、制度も未整備で妻の方が大変でしたね。私は、自分で何でもできるから特に問題はなかった。

イケてる父親とは

親が一所懸命になりすぎると子どもはしらせてしまうのでは。子どもとは少し距離を置いて見守る姿勢も必要ですね。あとは、仕事に一所懸命であるところを見せること。

パートナーに一言

仕事柄、1日中一緒にいるから大変ですね。漁業の仕事は1人でやると1人分だけど、2人なら3人分できる所もある。大きな網の目を結ぶときは片方を持ってもらわなければできないし。妻も船舶免許を取り、トラックも運転して2人で働いていますよ。

本当に、仕事に地域活動にとががんばっていると思う。

これから家庭をもつ人へのアドバイスは

男女雇用機会均等法が施行されて20年。もう「女性は家庭に」という時代ではないでしょう。個の能力を活かすには、自分で考えて行動していくことが大事だと思いますね。

子どもにはより関わって、親の姿を見せていきたいですね。子育てはあっという間のことだから。

取材を通じて

スタッフがまとめた

イケてる男になるためのマニフェスト

見た目と中身

イケてる男とは見た目ではなく中身がイケている。

生活技術

家事は好き嫌いでは済まされない。ともに生きるための生活必須技術。

姿勢

無理はしないで、今の自分ができることを、自然体で前向きに。

他者との関係

自分自身をしっかりもっていれば、他の人の生き方を認めていける。

価値観

固定観念にとらわれない生き方をしよう。生き方のスタンダードは無数にある。

人権

男女共同参画は女性だけのものではない。両性の人権を考えることが大切。

未来志向

たとえば、20年後をイメージして、自分の未来を見すえながら今を生きていく。



表紙とこのページのイラストは利根川初美さん

昼食後の「定年後の人生設計のススメ」の講義では、まず、現代の男女共同参画社会という時代背景についてふれ、現役の時の自分を振り返り、現在の生活自立度について考えていきました。

最近増加している熟年離婚について、新聞記事から学び、妻との会話、コミュニケーションの重要性を再確認。

定年後の人生設計には、自分と家族と地域を大切にしながら、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の両立)を考えていくことが肝心。生活人間になるため、生きる力、情報収集、人とのつながりを大切に、とアドバイスされ、講座は終了しました。



講座終了後のアンケートからは、「家事は妻一人でするものではなく、男も手を出すべきだとわかった」「初めて料理を作り、今までの妻の苦勞がわかりました」「自分の自立と妻への思いやりが重要です」などの感想が寄せられ、参加者がこれからの生き方を、前向きによりよくしていこうとする意欲がうかがわれました。

参加なさったみなさんの動機はいろいろでしたが、自分自身の自立や、定年後のいきいきとした生き方を考えてみよう!と積極的に行動する方たちだと思います。みなさんが年代的なギャップを感じつつも、そのなかで、少しでも講師の言葉を取り入れようという姿勢がうかがわれ、自然な笑顔からその思いが伝わってきました。

バザバでは、女性がチャレンジする具体的手法として、起業が有効であると考え、ロールモデルとなる女性を取り上げ、発想のポイントやイメージを具体化していく方法など紹介してきました。

今回は、これまで多くの事例に関わってこられた“SOHO@しずおか”のインキュベーションマネージャー小出宗昭さんに、改めて女性と起業についてうかがいました。



小出さん

Q. SOHOにはどの位の人を訪ねてきますか

1ヶ月間で相談に来られるお客さんは100～120人。そのうち、既存の企業からの相談が約6割で残りの4割が起業家や起業を目指す人。男女比は大体半々ですね。現在、入居者の半数以上は女性。ぜひPRしたいのは、こういった公的なインキュベート施設で、これだけ男女共同参加が進んでいるところは外にないんじゃないでしょうか。多分日本で唯一だと思います。

Q. 成功者の秘訣は

成功者には共通する要素があると感じています。その1つ目はオンリーワンであること。(究極のオリジナリティがあること、徹底的な差別化が図られていること)それが日本初でなくてもいいんです。静岡初でも、静岡で唯一でもいい。とにかく新規参入していくには、明確な違いが求められる。男性でも女性でも、既存の企業でも起業家でも同じ。2つ目は情熱。(継続しうる情熱)3つ目は行動力。よく失敗例についての質問も受けますが、結果が出ない理由はそこにあると思いませんね。

Q. 最近の起業を目指す人の傾向はありますか

相談で気になるのは、“自分探し”をしている人が多くなったこと。最初に“これをやりたい”というものを持って起業を目指すのではなく、“自分のやりたい世界にたどり着くから”という理由で起業に向かうというパターン。

“自分とは何か 自分にとって職場は働き方はどうなのか 働くこととは”という風に突き詰めて行って起業に向かう。そういう相談には再考を促す場合もありますよ。キャリアカウンセラーみたいだけど、「起業だけが選択肢ではない、あなたの職場でも、こう転換すればこうなるよ」という風に。

女性の場合、タイミングとしては、子育ての状況に応じた起業が目立ちますね。それが、お子さんが1歳になる時であったり、大学卒業であったり色々ですが、

Q. 相談者へはどのように対応していきますか。相談者の何を見ますか。

ビジネスとしての可能性はもちろんですが、それ以上に聞きたいのは、“なぜ起業したいのか”という点です。後から考えると、成功者には起業そのものに必然性がある。また、本人のセールスポイントが活かされているかも重要です。事業内容とそのセールスポイントとの整合が取れているか気になります。これがあまりかけ離れている場合、結果は出にくい。相談者と目線を合わせて一緒に考えて、この2つが近づいていくように努力します。

日本の社会には、起業に限らず、チャレンジすることに対して冷たい目で見ようとする所がありました。チャレンジが賞賛される世の中にならなくていいかと、経済も社会も悪い循環になっていくんじゃないでしょうか。みんなが起業する必要はないし、起業がいいことばかりだとは思えませんが、私は、“チャレンジすることが尊いことなんだ”とここで訴え続けていきたいと思っています。

SOHOしずおかは、元々は産業支援のための施設ですが、最近では地域活性化プロジェクトだとよく言われます。地域で活かされるべき資源はたくさんあって、起業もそのための手法のひとつです。ここで相談した一人ひとりが活性化されて、まちが動いていっただけならいいですね。

このモットーは“人活かし、能力活かして、まちおこし”です。

女性起業家フェスタ IN SHIZUOKA
平成18年8月29日実施

静岡市女性会館では、市民グループの企画による講座を協働で開催し、会館事業の活性化を図っています。

本年度は、10のグループからの応募があり、審査の結果、6つの企画が市との協働講座として実現します。今回はそのうちの2つのグループに寄稿いただきました。



フェミニストカウンセリングW&M

「苦しなくていいことで、本当に多くの人たちが苦しんでいる」私たちは、日々感じています。

長年カウンセリングを通して、人格が尊重されない社会で苦しむ女性の生き方を聞かせていただきました。更にここ数年、社会の動きなどから、フェミニストカウンセリングは、女性ももとより男性にも必要ではないか。そして男女一人ひとりが自己管理、自己決定、自己責任を自覚し、共に聴き語り、考え、歩み生きていくことを目指して「フェミニストカウンセリングW&M」を設立しました。

メンバーは、フェミニストの視点を持ったカウンセラーを中心に、看護師、弁護士ら16人です。カウンセリングを学習している仲間同士なので、自分を尊重し、相手を尊重することを意識しあっています。そのための本音のぶつかり合いや自分を振り返っての気づきが大きいにあります。まだまだメンバーを増やしていきたいと考えていますので、興味のある方はぜひ声をかけて欲しいです。

主な活動として、静岡市女性会館相談室でのカウンセリング、定期的なカウンセリング学習会や講座の開設、依頼により講師の派遣などを行っています。女性会館との協働講座は、「女性の自立」をテーマに今年で3回目を迎えました。生き方思考講座と題し、一貫して女性が人間としてその個性や能力を社会に向けて活かしていけるよう発信してきました。今回は、「生と性の自立」という観点から、産むという性を持った女性の心と体を振り返ることで、女性の問題を個人の問題ではなく社会の問題として捉え、そこからくる生きづらさに気づくことで、「自分の人生を自分らしく」生きていくことを考えます。

今後は、社会参加に自信をなくしている相談者を対象に社会に出る手助けをする「ケアハウス」の開設も検討していきたいと考えています。

Win Winプロジェクト

「勝ち組」「負け組」という言葉を、ここ数年よく見かけるようになりましたが、世の中には本当に「勝ちと負け」しかないのでしょうか？そんな社会の流れに疑問を感じながら、今年3月、私達は、子育て中の働く女性6人(全員30代!!)で「Win-Winプロジェクト」を結成しました。

当プロジェクトはその名前の通り『Win-Win=お互いが勝つ(うまくいく)』という発想をベースにしています。具体的には、仕事と子育てを通して感じる悩みや疑問を解消すべく、当事者力を活かした発想で講座や座談会の企画・運営をすることで、参加者と「Win-Win」ネットワークを広げています。

これまでに、ビジネスフォーラムへの参加や、ババの子育てをテーマにした映画上映会、育児休業を取得した男性官僚を招いた座談会などを開催してきましたが、来年1月20日(土)と2月3日(土)には、静岡市女性会館との協働講座を開催します。講座では、女性起業家として、数多くの著書もある秋田稲美さん(株式会社エム・ム・ズ)を講師に「3年後、なりたい自分になる“ドリームマップ”」(仮)と題して開催する予定です。

ドリームマップとは、なりたい自分を台紙の上に絵や写真・言葉で表現するもので、2日間かけて、現状の自分を掘り下げながら、講師との対話や仲間とのセッションを通して、自分の夢をわかりやすく再認識することができるワークショップ形式の講座で、静岡初登場です。

メンバー一同、受講される皆さんと一緒に「夢」を共有することで、「Win-Win」の関係を、より広げていきたいと考えています。

(詳細は決定次第、ホームページなどでお知らせします)

SOHO@しずおか

Tel: 054-653-8800 / Fax 054-653-8801

E-mail: info@soho-shizuoka.gr.jp http://www.soho-shizuoka.gr.jp/shizuoka/

静岡市、静岡県及び民間経済団体等の連携のもと、起業家支援等のため設置、運営されている産業支援施設。

NPO法人フェミニストカウンセリング

W&M

電話: 054-283-0215

Win Winプロジェクト

http://winwinpro.exblog.jp/

問い合わせは: メール Win-WinProject@excite.co.jp

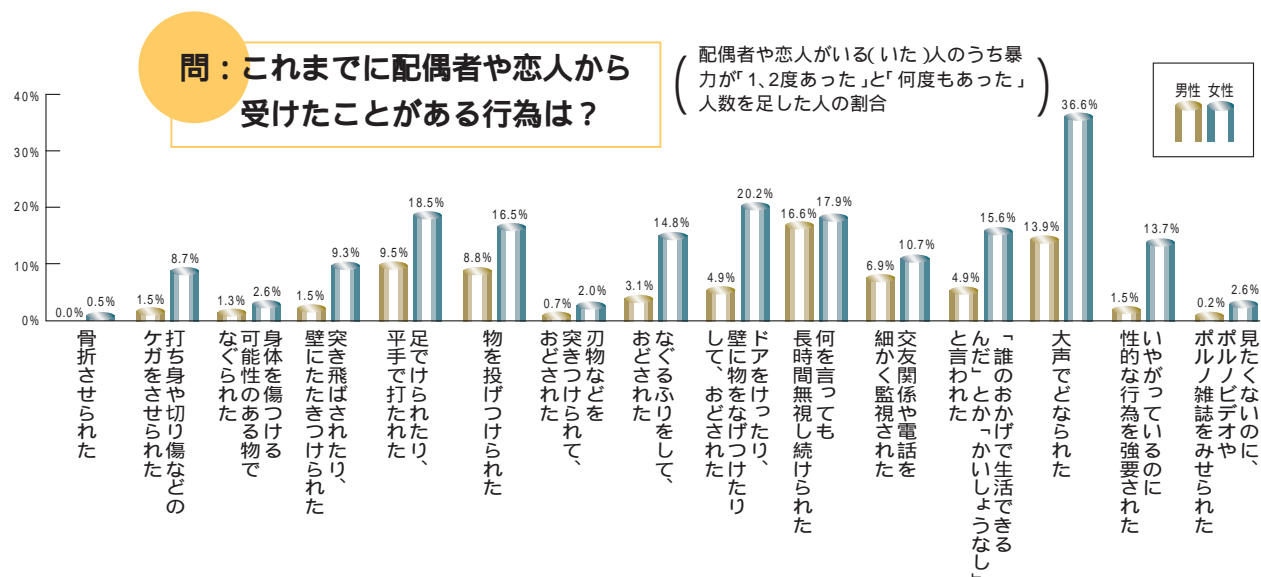
DV実態調査の結果から...

静岡市では、配偶者等による暴力の実態を明らかにし、今後の施策の参考にするため、「配偶者等からの暴力に関する調査(DV実態調査)」を実施しました。

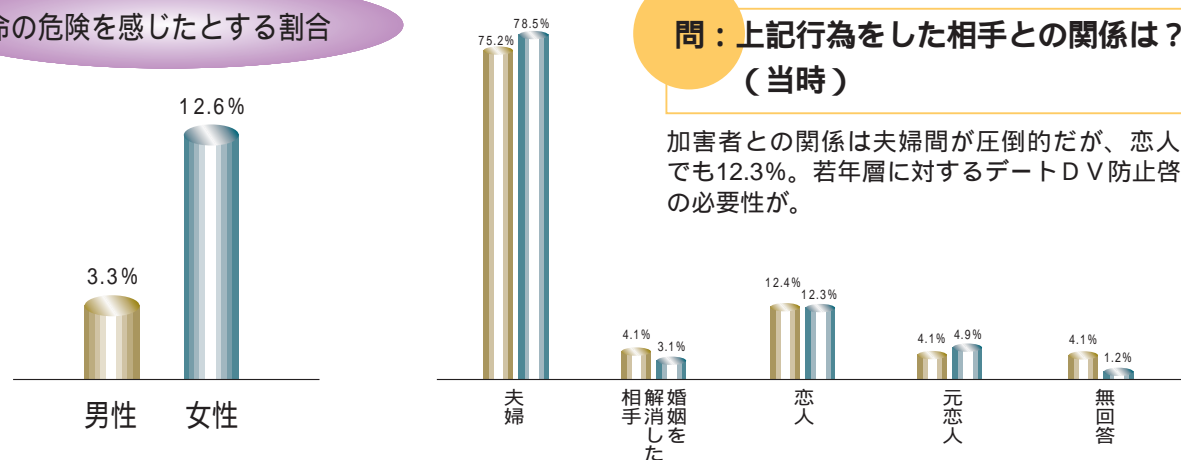
命の危険を感じた女性の割合は...

被害実態の詳細では、女性の被害体験が15項目のうち9項目で10%以上を占めており、全ての項目で男性の被害体験割合を上回っている。

また、女性が男性のおよそ4倍の割合で命の危険を感じている。



命の危険を感じたとする割合



調査の概要

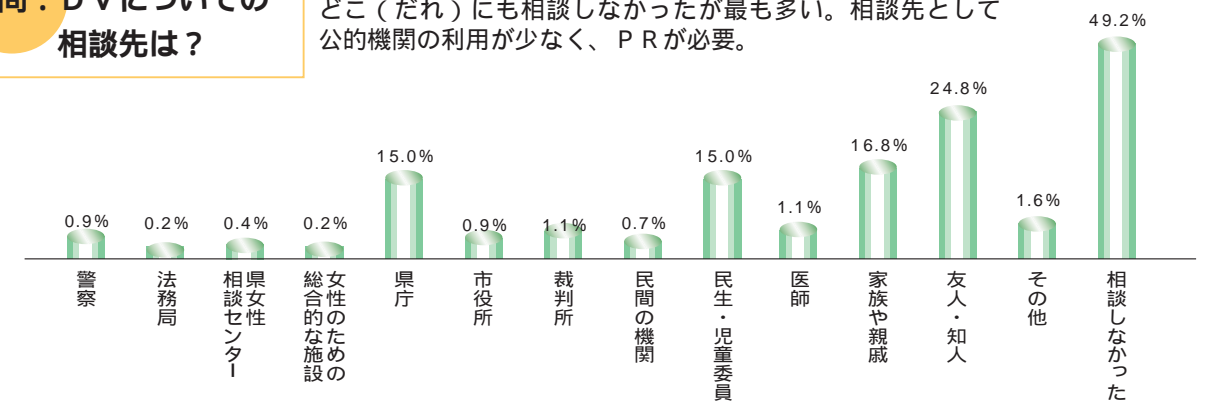
調査対象：静岡市在住の満18歳から65歳の男女
 抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出
 調査方法：郵送法
 調査期間：平成17年6月
 発送数：3008 有効回収：1188 (39.5%)
 男性479人 女性709人

デートDVとは

結婚していない男女間での体、言葉、態度による暴力のことです。
 親密な相手を思い通りに動かす為に複合的に使われるあらゆる種類の暴力を指します。

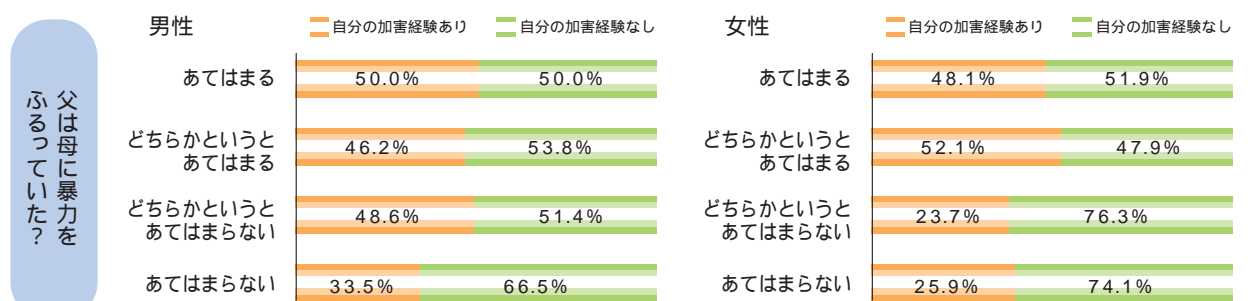
問：DVについての相談先は？

どこ(だれ)にも相談しなかったが最も多い。相談先として公的機関の利用が少なく、PRが必要。

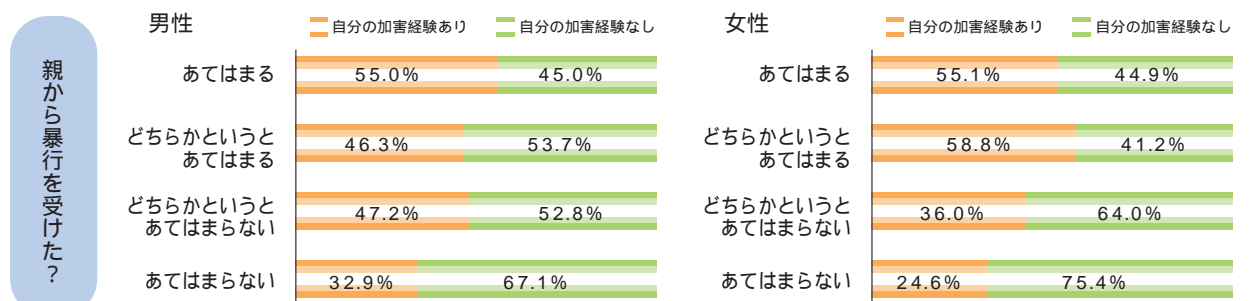


父から母への暴力の経験と自分の加害経験 (クロス集計)

18歳までに経験した父から母への暴力、自分への暴力が自らの加害に結びつくという「暴力の連鎖」が確認された。



親から自分が暴行を受けた場合の加害経験 (クロス集計)



この結果については、静岡市男女共同参画審議会に報告し(平成18年8月)、市の次期男女共同参画行動計画策定における資料とします。

また、公的機関への相談が少ない現状から、DVパンフレットを作成し配布するとともに、調査結果ダイジェスト版を市政ふれあい講座等で活用していきます。

